

POLA X 銀座 蔦屋書店

BEAUTY CULTIVATION

ポーラ企業文化誌『WE／』 歌舞伎×オペアート 体感イベント
【7月6日(金)～7月8日(日)】 を開催

トークイベント「POLA TALKER'S MUSEUM FEAT.WE／」
7月7日(土) 歌舞伎俳優 坂東 巳之助丈・中村 隼人丈によるトークイベント開催

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、社長：横手喜一）は、二子玉川 蔦屋家電や梅田 蔦屋書店、銀座 蔦屋書店をはじめとしたCCCグループとBEAUTY CULTIVATION（磨く、養う、ともに高め合う）のコラボレーションスローガンのもと、美しくあるための感性を刺激する体験をお届けしています。

2018年の第一弾、第二弾はポーラ企業文化誌『WE／』5・6月号「かなでる 縄文×近未来」をテーマに、二子玉川 蔦屋家電・梅田 蔦屋書店とともにコラボレーションイベントを開催。5,000人を超える方に縄文と近未来をかけあわせた世界をご体感いただきました。第三弾は銀座 蔦屋書店にて、イベントを実施いたします。
<https://www.pola.co.jp/special/beautycultivation/>



今回は、ポーラ企業文化誌『WE／』7・8月号「なぞらえる」のメインテーマである歌舞伎とオペアートをかけ合わせた革新的な体験型コンテンツを展開します。「なぞらえる」には、見立てる、真似る、似せるなどの意味があります。

代々、型をなぞらえながら進化をとげてきた「歌舞伎」と、知覚のメカニズムをなぞらえる「オペアート（錯視アート）」のこの2つの「なぞらえる」から、イノベーションとは何かを考えます。

参加者が実際に「歌舞伎×オペアート」の世界に入り込む巨大アートインスタレーションや、歌舞伎のトレードマークとも言える隈取×オペアートのオリジナル団扇作りワークショップを行うほか、7月7日(土)には、8月に新橋演舞場で新作歌舞伎「NARUTOーナルトー」に挑む若手歌舞伎俳優 坂東 巳之助丈と中村 隼人丈によるトークイベントなども実施いたします。

この期間にしか味わえない驚きと感動の体験をお楽しみください。

■開催期間：2018年7月6日(金)～7月8日(日) 11:00～20:00

■開催場所：銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM（東京都中央区銀座6丁目10-1 GINZA SIX 6F）

※ オペアート：オプティカル・アートの略称。視覚的芸術の意味。その中でも特に錯視（オプティカル・イリュージョン）による視覚的効果が考慮されて制作された作品を指す。

『WE／』7・8月号 「なぞらえる」 歌舞伎×オペアート アートインスタレーション

2次元から飛び出して、「歌舞伎×オペアート」の世界が巨大なインスタレーションに。動いていないはずのものが動いて見えたり、歌舞伎の世界に飛び入り参加したり。

これまでに体験したことのない、視覚メカニズムが生むまったく新しい感覚をお楽しみください。スマートフォンなどで撮影いただくと、肉眼でのご体験と違う一面までお楽しみいただけます。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
担当：小林、堀、山村、野口、河野、藤井、勝田



「POLA TALKER' S MUSEUM」は、「出会いから、一步前へ」をコンセプトに、出会いのきっかけをつくり出している体験型トークイベントです。
今回はポーラ企業文化誌「WE/」7・8月号の特集“なぞらえる”をテーマにお届けします。

※事前予約制 申し込みは公式サイトよりご確認ください。<https://www.pola.co.jp/special/beautycultivation/>

7月7日(土) 14:00~15:30 What's INNOVATION? (参加無料)

ゲスト: 歌舞伎俳優 坂東巳之助丈・中村隼人丈

伝統を受け継ぎながら革新を続ける若手歌舞伎俳優の坂東 巳之助丈と中村 隼人丈をゲストに迎え、「イノベーションとは何か」についてトークイベントを行います。

坂東 巳之助丈

東京都出身。十世坂東三津五郎の長男。1991年、3歳で歌舞伎座「傀儡師」の唐子で初御目見得。95年二代目坂東巳之助を襲名。近年では若手公演の新春浅草歌舞伎に欠かせない存在。2015年の初演以来、スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」でゾロ、ボン・クレー、スクアードの3役が絶賛を浴び、映画の出演、TV番組のナレーションにも才を見せる。8月に新橋演舞場で上演される新作歌舞伎「NARUTO-ナルト-」では“うずまきナルト”を演じる。



中村 隼人丈

東京都出身。中村錦之助の長男。2002年歌舞伎座「菅原伝授手習鑑寺子屋」の松王丸一子小太郎で初代中村隼人を名乗り初舞台。若手中心の新春浅草歌舞伎には7年連続出演の常連。2015年の初演以来参加するスーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」ではサンジ、イナズマに加え、マルコの3役に挑み、連続ドラマのレギュラー出演のほか、料理番組の司会などでも活躍。8月に新橋演舞場で上演される新作歌舞伎「NARUTO-ナルト-」では“うちはサスケ”を演じる。



7月8日(日) 13:30~14:10、15:00~15:40 (各40分) 江戸EDOの紅化粧、実体験! (参加無料)

ゲスト: 富澤 洋子氏 (ポーラ文化研究所 学芸員)・城間 健氏 (メイクアップアーティスト)

江戸時代も現代も、女性がメイクに託す気持ちはどこか共通しています。江戸時代にワープしてオペアート(錯視)の一つとも言えるメイクを体験してみませんか? ポーラ文化研究所学芸員の富澤氏、メイクアップアーティストの城間健氏の解説とともに、実際の紅を使ってワークショップをお楽しみいただきます。通常は美術館や博物館でのみ展示している、ポーラ文化研究所の貴重な江戸時代の化粧道具を間近でご覧いただくというスペシャルタイムもご用意。

富澤 洋子氏

2004年よりポーラ文化研究所にて化粧や美容の歴史や美人観の変遷など、化粧文化についての研究を行い、展覧会、セミナーなどで発表。主な研究領域は近代の化粧文化史。
著書『よそおいの楽しみ、かざる悦び—アール・ヌーヴォー期の銀製手鏡』、
共著『近・現代化粧文化史年表』『明治・大正・昭和の化粧文化』(いずれもポーラ文化研究所発行)



城間 健氏

メイクアップアーティスト。ロンドンを拠点に『VOGUE』『L'OFFICIEL』『i-D』などのファッション誌や広告、セレブリティのメイクアップを手がける。近年では、世界的化粧品ブランドのスペシャルアドバイザーとしてブランディング、商品開発、教育などもプロデュース。また、アンダース・エドストローム、ダニエル・サンウォルド、ノーバート・ショナーといった著名な写真家と共に多くのアートプロジェクトに携わるなど活動は多岐に渡る。



歌舞伎(隈取)×オペアート 団扇作り ワークショップ (終日実施)

歌舞伎のトレードマークである隈取×オペアートのオリジナル団扇作りができるワークショップ。片面はオペ・アート、もう片面はオリジナルの隈取を自分で描き、自分だけの一枚を。歌舞伎俳優が実際に「顔をつくる」隈取のように、作り手の個性をいかした団扇が完成します。

『WE／』は、冊子やイベントなどを通して、新しい自分に出会うための気づきをともに創っていく活動です。1950年から「ポーラ美容新聞」として始まったポーラの企業誌は、冊子名を変えながら時代のニーズに合わせて変化を重ね、2017年に企業文化誌『WE／』として新たに創刊いたしました。“伝統と革新”をコンセプトに隔月発行でお届けし、同時にそれに伴うインスタレーションやワークショップ、トークイベント等も展開しています。



『WE／』7・8月号は“なぞらえる”特集です。

歌舞伎俳優の坂東 巳之助丈と中村 隼人文、錯視研究の第一人者である知覚心理学者の北岡 明佳氏（立命館大学文学部教授）を迎え、歌舞伎×オブ・アートというかけ離れた2つの出会いから革新の本質に迫ります。

その他、吉本ばなな（作家）、暁方ミセイ（詩人）、文月悠光（詩人）、若木信吾（写真家）、横石崇（&CO.代表取締役）、濱口瑛士（少年画家）などの作品やインタビューを掲載。

詳しくは、下記公式サイトをご確認ください。
<https://www.pola.co.jp/we/>